

日本老年看護学会 2019年度生涯学習支援研修 基礎編（金沢）報告

開催日時：2019年12月7日（土）13：30～16：30

会場：金沢医科大学 医学教育棟 E11 講義室

参加者数：59名（会員23名、非会員36名）

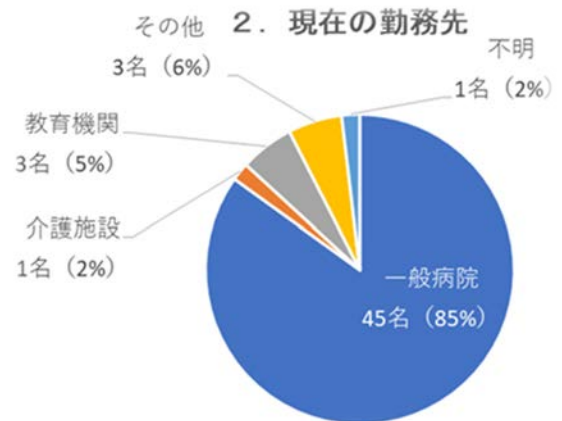
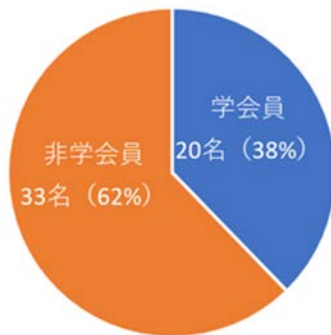
テーマ：自分の病院や施設の身体拘束を回避・解除しよう

1. 講演：身体拘束に対する看護師の基本姿勢
金沢医科大学看護学部 老人看護専門看護師 直井千津子先生
2. 講演：自分の病院や施設の身体拘束を回避・解除しよう
金沢大学医薬保健研究域保健学系 加藤真由美先生
3. グループワーク

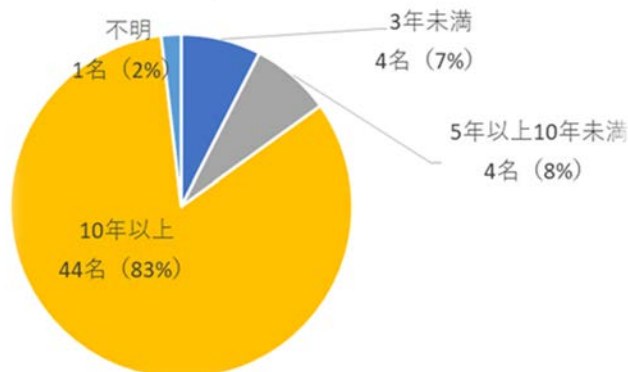
アンケート結果（回収数53、回収率89.8%）

I. 参加者の概要

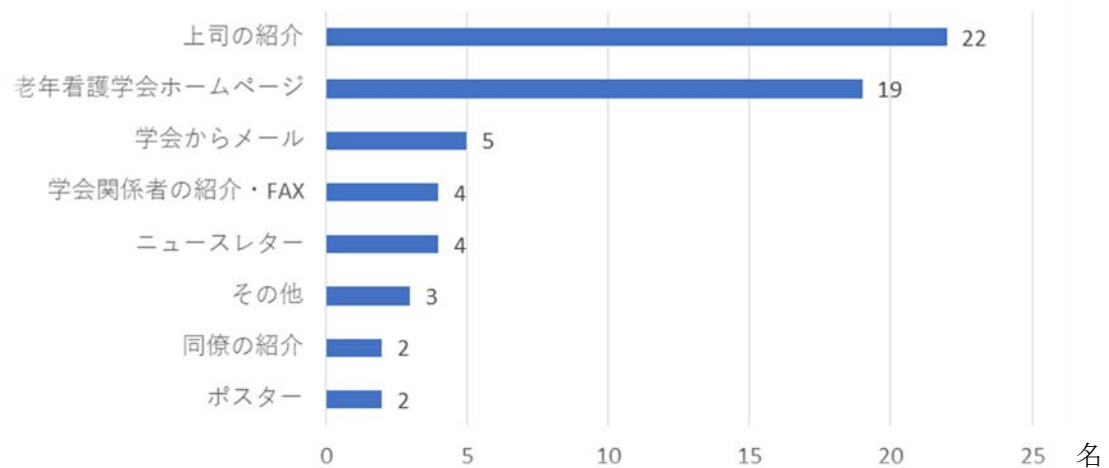
1. 日本老年看護学会への入会状況



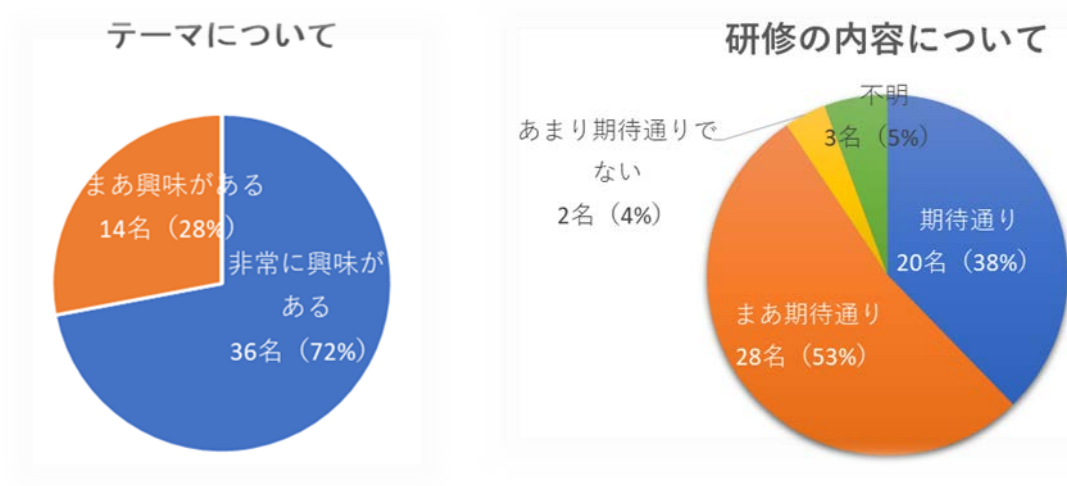
3. 看護師経験年数



4. 研修を知ったきっかけ



II. 今回の研修について



- 意見：
- ・ミトンについてもっとききたかった。
 - ・研修テーマの内容も濃い内容で、グループワークも重要だが短い。
 - ・研修時間に無理があるように思えた。一日研修でも良いのではないかと思えた。

III. 今後取り上げてほしいテーマ、あるいは日本老年看護学会への要望

- ・せん妄対応
- ・フレイル・サルコペニア対策
- ・ACP、終末期の意思決定支援
- ・意志決定。高度な治療。日本とUSA、ヨーロッパの違い対策など知りたい。(訴訟とか)
- ・パーソンセンタードケア、認知症ケアマッピングの講義
- ・認知症者のアセスメント方法
- ・認知症患者のコミュニケーション
- ・訪問看護に関すること。在宅専門Nsの講義があったらよい
- ・排泄ケアと転倒について
- ・ミトンをはずす工夫が知りたい
- ・同じ内容の研修を複数回開催してください。